Creative Enzymes®

# アリール硫酸塩硫酸転移酵素

*Cat. No. EXWM-3381*

*Lot. No.* (See product label)

## *はじめに*

| | |
|---|---|
| *明* | 腸内に定着する細菌から特徴づけられたこの酵素は、フェノール硫酸エステルから他のフェノール化合物への硫酸基の転移を触媒します。活性はMg2+およびMn2+によって強化されます。EC 2.8.2.9のチロシンエステル硫酸転移酵素やEC 2.8.2.1のアリール硫酸転移酵素とは異なり、この酵素は3'-ホスホアデニル硫酸やアデノシン3',5'-ビスリン酸には作用しません。ポリフェノールの硫酸化のレベルは、ヒドロキシル基の位置に依存します。アンジオテンシンのようなペプチド中のチロシン残基のヒドロキシ基も受容体として機能することがあります。この反は、ピンポン型のビビメカニズムに従って進行します。 |
| *別名* | アリル硫酸エステル-フェノール硫酸転移酵素; アリル硫酸転移酵素; ASST; アリル硫酸硫酸転移酵素; アリル硫酸:フェノール硫酸転移酵素; astA (遺伝子名) |

## *製品情報*

| | |
|---|---|
| *形態* | 液体または凍結乾燥粉末 |
| ***EC番号*** | EC 2.8.2.22 |
| ***CAS登番号*** | 158254-86-5 |
| *反* | アリル硫酸エステル + フェノール = フェノール + アリル硫酸エステル |
| *備考* | このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは59週間です。ご要望にじてカスタム生産が可能です。 |

## *保管・発送情報*

| | |
|---|---|
| *保存方法* | 短期間の保管には+4 ℃で保存してください。長期間の保管には-20 ℃~-80 ℃で保存してください。 |